

みんなで協力！ライドアドベンチャー！

【プレステージ】
7月26日（日）

【メインステージ】
8月2日（日）～8日（土）

～山口県で体験三昧！～

【目的】 グループの力を借りて様々な「生活体験」「社会体験」をする中で、力を発揮できる空間を作る方法を知りながら、自らも暖かい空間を体感することで自己有用感を高める。

また、グループ内の関係が深くなることで、コミュニケーションの場を増やし、様々な事にチャレンジすることで、成長できる自分を見つけ自己肯定感を高める一助とする。

【予定概略】

【参加者】 小学生5年生～6年生 13名

【プログラムの内容】

プレステージ

- ・人間関係づくり
- ・行程説明
- ・保護者説明会

メインステージ

- ・人間関係づくり
- ・行程確認
- ・移動方法確認
- ・調べ学習

- ・2日：グループワーク、行程準備等（山口徳地自然の家泊）
- ・3日：山口駅→山口県立油谷青少年自然の家（油谷自然の家泊）
- ・4日：油谷自然の家カッター体験
- ・5日：油谷自然の家→山口県立十種ヶ峰青少年自然の家（十種ヶ峰自然の家泊）
- ・6日：十種ヶ峰自然の家「森のチャレンジコース」体験
- ・7日：十種ヶ峰自然の家→山口県立由宇青少年自然の家（由宇自然の家泊）
- ・8日：由宇自然の家→海水浴→山口徳地自然の家着（ふりかえり後閉講式）

プレキャンプ



事前に集まり、仲良くなりみんなで過ごした。別会場では保護者説明会を実施し、メインステージについての説明をした。

メインステージ(2日)



アイスブレイクの後、グループの目標を立てて、翌日の移動の行程をみんなで話し合った。

メインキャンプ(3日)



ミッションをクリアしながら、うまく乗換えをし、油谷青少年自然の家に到着した。

メインキャンプ(4日)



午前中はカッター体験した。午後からは、室内アクティビティをし、みんなで課題を解決した。グループ内から徐々に本音が始まり、衝突する場面もみられた。

メインキャンプ(5日)



財布を忘れたり、反対方向の電車に乗ったり、目標到着時間に間に合わないことが発覚したりさまざまな課題が出てきましたが、自分たちで話し合いをし、駅員や地域の方に聞いて情報収集をし、目的地を目指した。

この日は1グループゴールできずに、途中でリタイヤとなった。

メインキャンプ(6日)



この日は、「森のチャレンジコース」にチャレンジした。チームの力を得ながら、自分のできる最大限のチャレンジをした。高さ8mのワイヤーの上を歩く。自分の命綱は仲間が持っている。自分と仲間を信頼する体験をした。

メインキャンプ(7日)



この日は最後の施設への移動日。移動途中で急遽ミッションがタブレットに届き、どうやってクリアするかを電車内で話し合いしながら、最後のゴールを目指した。

最後は手をつないで一緒にゴールした。また、遅くなった方のグループを早い方のグループが迎える方法を考えるなど、参加者13人が一体となる瞬間も見られた。

メインキャンプ(最終日)



最終日は海水浴をし、山口徳地に戻って最後の振り返りをした。1週間どんな自分に出会えたか、何を学べたかをお互いに共有し合った。

【参加者の声】

「初日は、皆と仲が深めることが不安だったが、最後には皆と仲が深め合っよかった。」「電車でたくさん笑って話せた。」「県内じゃなく、県外にもいきたい。」「参加して、自分は成長することができた。」など人間関係の大変さの中から学べたことや、結果として自信につながったというようなアンケート結果が見られた。

【成果と課題】

新型コロナウイルス感染症のため今年度は県内での実施となりましたが、やはりダイナミックさに欠けた点は参加者のチャレンジ精神などに影響を与えたように思う。

また、各施設のアクティビティを体験することでグループの成長をねらったが、「移動」に対して学習したことをうまく次の移動の際に使えるようにプログラムされていなかった。移動は連続でデザインするか、学習したことを一般化し持続できるスキルを指導者が身に付ける必要がある。